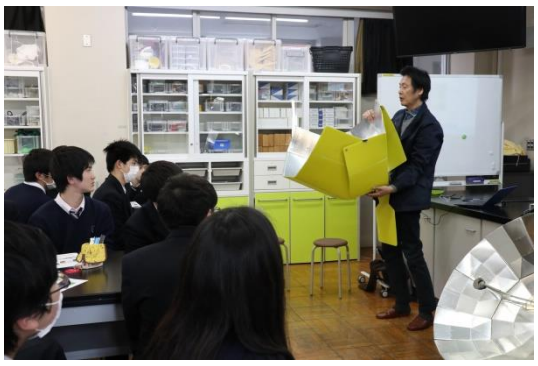
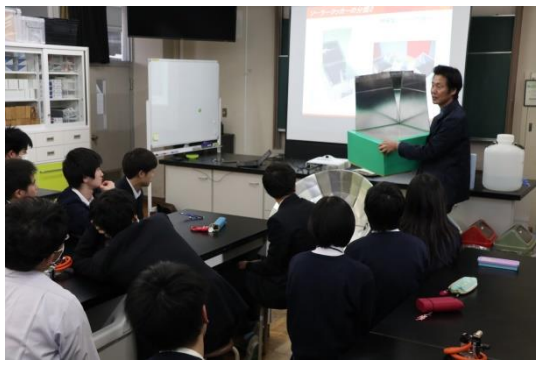
サイエンス・フロンティアコース
第 2 学年

足利工業大学　理科実験教室

今年も足利工業大学の中條祐一先生にお越し頂き，ソーラークッカーについての講義の後，ソーラークッカーを用いて調理した“焼きイモ”の試食を行いました。ソーラークッカーとは，太陽熱温水器と同様に熱源には太陽光のみを使用して調理を行う道具です。私たちは普段，電気やガスを使って調理をしており，炭や薪で調理をするのはキャンプのときくらいです。しかし地球上には現在，炭や薪を燃料として調理をしている人々が全人口の半分以上いて，炭を約 3 週間ごとに購入(私たちの生活水準で約 2 万円)したり，薪を探すために一日中歩いたりしているという世界の現実を，講義を通して知りました。また，室内で燃料を燃やして調理をするため，煤や煙の害で毎年週百万人もの人々が亡くなっているという現状に驚き，太陽の熱を利用して調理をするソーラークッカーでこの問題が解決できることが分かりました。ソーラークッカーのみならず，世界の現状を知る，社会の勉強にもなりました。

- ただ太陽の熱で調理をするだけだと思っていたが，発展途上国でたくさんの人々に役立っていることが分かった。
- 火を使わずに太陽光で調理をすることは画期的で，もっと研究をしていけば火を使わずに調理をすることが一般的になるだろうと思う。
- 自然エネルギーを用いて無害で調理できるソーラークッカーは素晴らしいアイディアだと思う。地球の環境保護のためにも普及していって欲しい。
- 発展途上国などの世界の状況と自分たちとはかなり違っており，何かできることをやってみたいと思った。
- 災害時にも役に立ちそうなので，自分でも作ってみたい。